

カチコチに焼かれた石

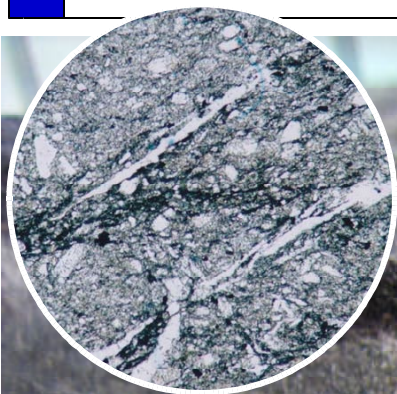
岩石名

ホルンフェルス Hornfels
(ホルンフェルス)

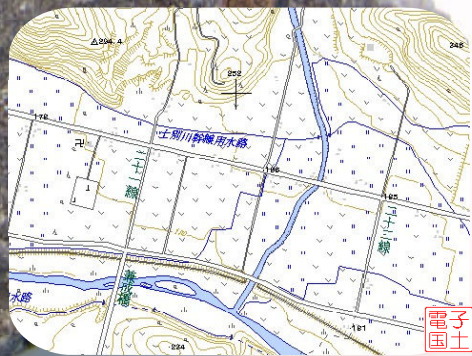
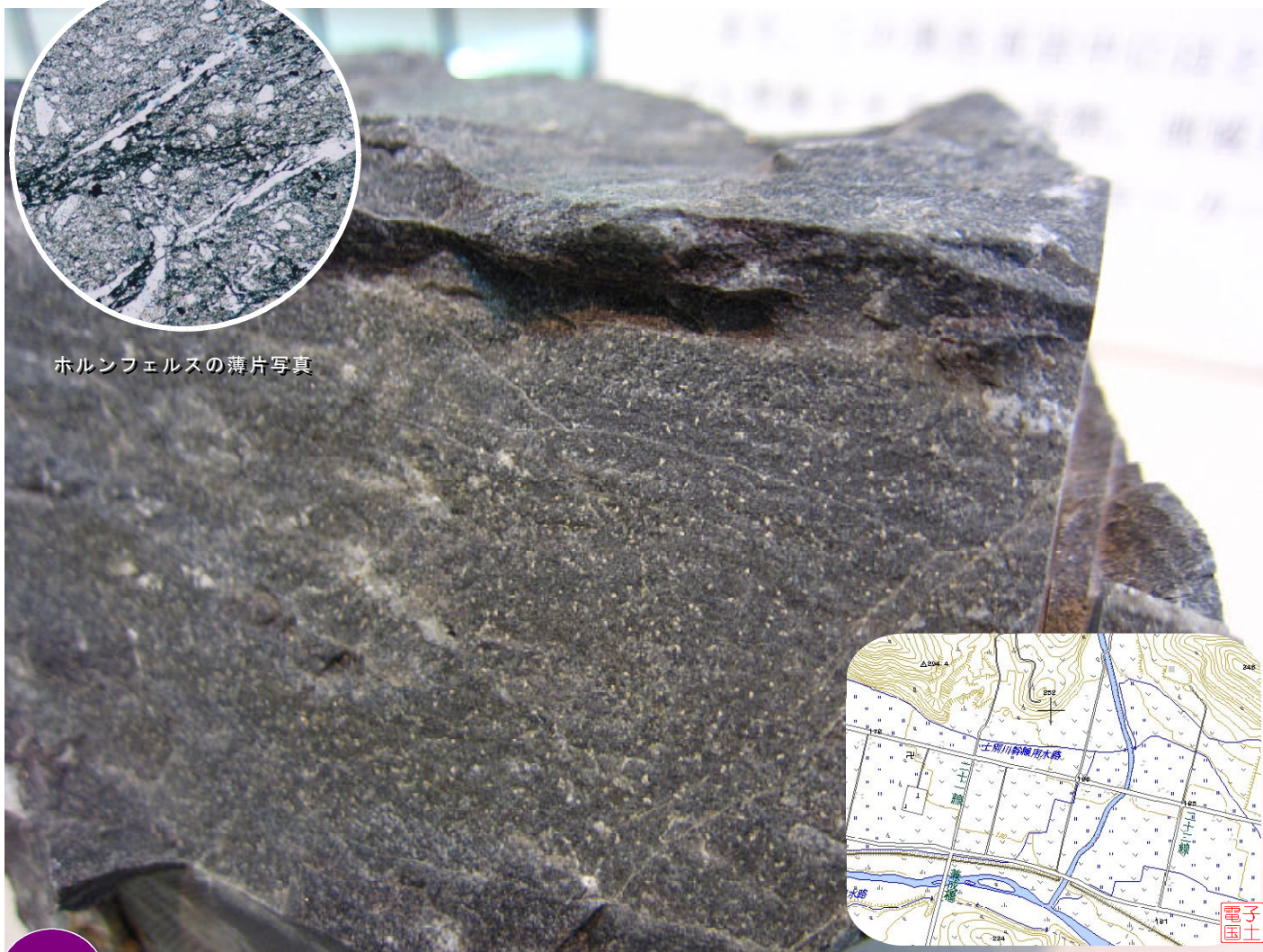
時代 中生代白亜紀

地質区分 日高累層群

産出地 士別市上士別西内大部川



ホルンフェルスの薄片写真



解説

マグマに焼かれた石

ホルンフェルスは、地下にあった泥岩や砂岩の地層がマグマと接触して高温変成された岩石です。この地域のホルンフェルスは、中生代白亜紀後期に形成された付加体（日高累層群）の泥岩が、新生代新第三紀中新世の地下の火成活動（日高火成活動）の花崗岩質マグマの熱によって変成されたものです。非常に硬く、地層の縞模様も保存されています。

ンフェルスがくつついている状態のものが見つかることもあります。

ホルンフェルスは非常に硬いため、古代では石器の材料としても利用されていました。現在では建材のほか、硯や基石の材料としても利用されています。



上士別の花崗岩
(上部にホルンフェルスが見える)



上士別の採石場

上士別では花崗岩体が点在しており、その周囲にはホルンフェルスが分布しています。また、川原の転石には、花崗岩や閃緑岩にホル

調べてみよう

- ホルンフェルス同士をぶつけて、火花を散らせてみよう。